



幼稚園と保育所で節分の行事

幼稚園豆まき会

2月3日(月)幼稚園で「豆まき会」が行われました。

当日は、心の中の悪い鬼を追い払うため、それぞれの児童が思い思いに作った鬼を模した被り物を身に付け、豆まきをしようとしているところに外から鬼が現れました。

子ども達の中には、突然現れた鬼に驚き泣いてしまう子や固まって動けなくなってしまう子もいましたが、勇敢に立ち向かう児童を先頭に「鬼は外！福は内！」と元気な掛け声とともに豆をまき、目の前の鬼と心の中の悪い鬼を追い払いました。

鬼を追い払った子ども達が、今年も健康で、良いことがたくさんある一年を送ることを願います。



鬼を追い払え～



掛け声とともに豆をまく子ども達

保育所子ども豆まき会

2月3日(月)保育所にてなかよしクラブのお友達も参加し、子ども豆まき会が行われました。

はじめに、節分の由来や心の中には、どんな鬼がいるのかなど、ペープサートをしながら楽しく話を聞きました。

次に各クラスとなかよしクラブの代表の子ども達が、制作した鬼のお面を紹介しました。子ども達は自分だけのお面をかなり満足げな表情でした。

その後は、鬼の的に向かって「鬼は外！福は内！」と言いながら、一生懸命ボールを投げていました。

最後に鬼の登場。びっくりした様子のお友達もいましたが、優しい鬼と一緒に「おにのパンツ」の歌をうたって、楽しい時間を過ごしました。



鬼の登場！



上手に投げられたかな？



「節分の豆知識」

節分では豆まきの他に軒先に柊（ひいらぎ）と一緒に鰯の頭を飾る「柊鰯」という風習があります。これは柊のトゲの痛みで鬼を追い払い、鰯の臭気で鬼を寄せ付けないようにするためのものと言われています。

この風習は古くから行われており、平安時代に執筆された「土佐日記」や、江戸時代に描かれた浮世絵にも登場しているようです。

頑なに何かを信じる人を揶揄するのに使われる「鰯の頭も信心から」ということわざは、「鰯の頭のような重要でないものでも、それを信じる人には大切なものとなるように、信じる力は大きい」という意味で柊鰯が由来となっているようです。

